

てんかん認定通信

2017.5月発行 てんかん院内認定看護師

みなさん、こんにちは。日に日に夏らしい気候に近づいていますが、いかがお過ごしでしょうか。静岡の梅雨入りはもう少し先のように、毎日気持ちのよい天気恵まれています。

さて、今月の認定通信では、A5病棟を紹介させていただきます。

A5病棟には0歳から60歳代と幅広い年代の方々が入院され、検査や薬物治療を受けられていますが、入院患者さんの半数以上は学童期・思春期の子どもたちです。この年代の子どもたちは多感であり、身体的にも精神的にも大きく成長する時期です。また、就学や進学、就職といった社会生活の変化も起こるため、さまざまな支援が必要です。患者様ひとりひとりが、楽しく豊かな生活を送っていただくためには、看護師の役割は大きなものであると考えます。

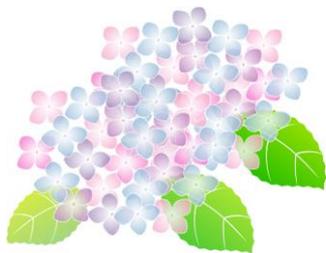
A5病棟で行っている実際の活動を、病棟看護師よりご紹介します。

発達に障害をもつ患者様の看護について、看護研究に取り組みます。勉強会やカンファレンスを行い看護力の向上を目指します。

A5病棟 堀田

勉強会係は、毎月てんかん看護についての勉強会を行い、基本に戻り病棟全体でスキルアップできるよう取り組みます。

A5病棟 前川



発達支援のためのカンファレンスを開催し、医師やリハビリ、学校等の多職種と連携を図り、多角的で個別性のある支援が行えるよう取り組みます。

A5病棟 岡平

病棟活動係は、運動や季節ごとの活動を通して、楽しみのある入院生活がおくれるようにサポートします。

A5病棟 梶山

明るく元気に、一年取り組んでいきます！